

わたしのまちの Yamaguchi City 上下水道

わたしのまちの上下水道 vol.1

令和6年7月17日発行

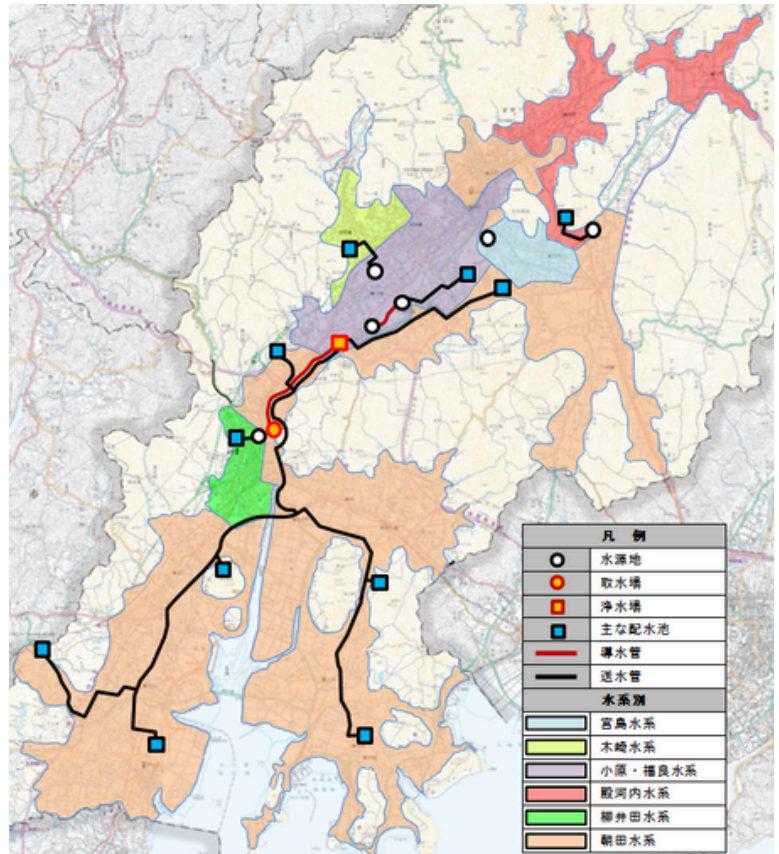
山口市上下水道局

第1回目では、山口市の上下水道事業の現状をお伝えします。



▲アクア

▼山口市水道施設位置図



山口市の水道事情

▶▶ 水道事業

市内の水道は、市中心部を流れる榎野川と6か所の井戸を水源としています。これらの水源で取水し、配水池や水道管を通じて、東西南北にわたり水道水の供給を行っています。

(令和5年度末時点)

項目	水道事業
給水人口	171,089人
給水戸数	79,594戸
普及率	95.4%
年間配水量	1,909万 ^m
年間有収水量 ※	1,798万 ^m

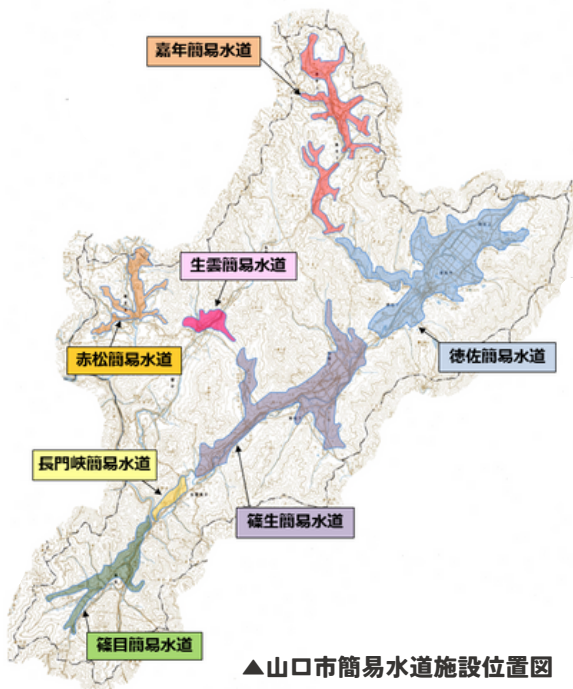
※ 有収水量...料金収入の対象となった水量のこと

▶▶ 簡易水道事業 (阿東地域)

阿東地域では、現在7つの簡易水道により水道水の供給を行っています。

(令和5年度末時点)

項目	簡易水道事業
給水人口	3,802人
給水戸数	1,740戸
普及率	89.1%
年間配水量	58万 ^m
年間有収水量	42万 ^m



▲山口市簡易水道施設位置図

水道施設の規模について

(令和5年度末時点)

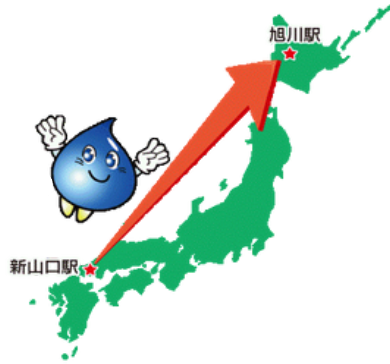
水道水を供給するためには、建物や構造物（例：水道管・配水池等）、電気機械など、様々な設備が必要となります。市内にある施設等の資産総額は、水道事業で約900億円、簡易水道事業で約50億円です。

安定した水道水の供給を続けるため、種別に応じて10年から80年の更新基準を定め、計画的な更新に努めています。

水道施設	数	資産総額
ダム(山口県と共有)	1か所	約900億円
取水場	1か所	
浄水場	1か所	
水源地	6か所	
配水池	19か所	
中継ポンプ場	8か所	
水道管	1,263km	

簡易水道施設	数	資産総額
浄水場・水源地	14か所	約50億円
配水池	19か所	
加圧ポンプ場	4か所	
水道管	227km	

山口市の水道管の長さは
1,490km!
山口から旭川までの距離
と同じだよ。



▲水道管の敷設工事



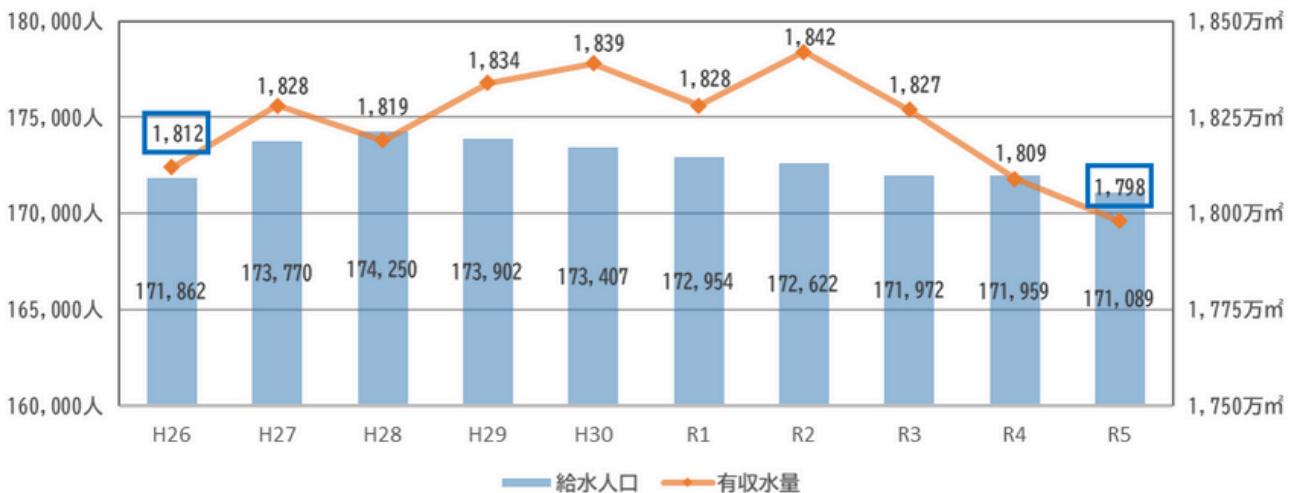
▲朝田浄水場



▲問田配水池

水道の利用状況

水道事業 ～過去10年の利用状況～



水道事業の給水人口は、人口減少の影響により徐々に減少しています。また、有収水量は、気候や景気動向等の影響を受けるため給水人口の変動に直接比例はしませんが、10年間で約14万m³減少しており、今後も減少傾向が続くと考えられます。簡易水道事業についても、減少傾向が続く見込みです。

山口市の下水道事情

山口市の下水道事業は、公共下水道、農業集落排水事業、漁業集落排水事業の3種類があります。



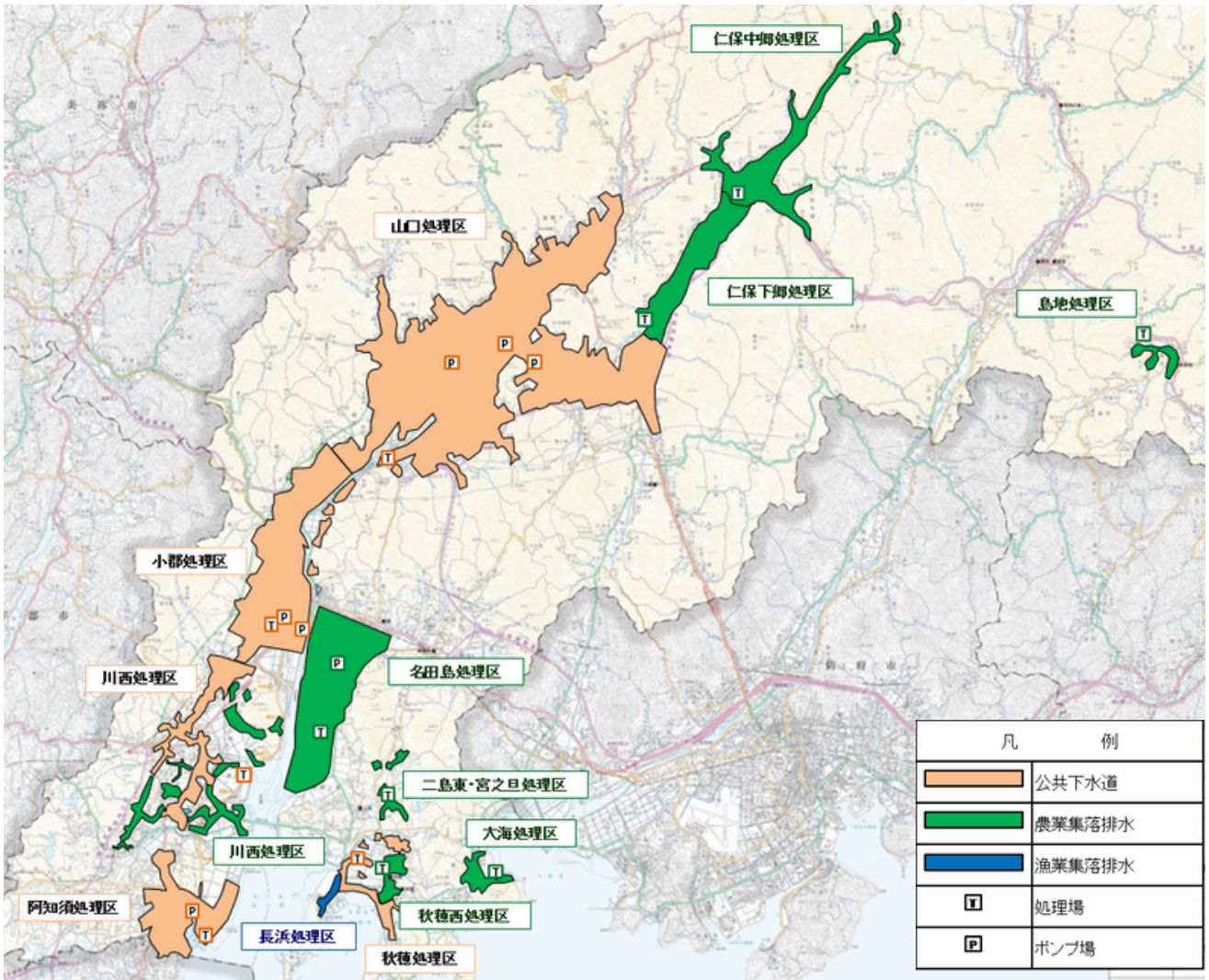
▲水輝ベン太

公共下水道事業

公共下水道事業では、山口、小郡、秋穂、阿知須、川西の5つの処理区で整備を行っています。このうち、川西処理区は既市街地及びその周辺において小規模な処理対象人口を対象に設置する特定環境保全公共下水道として整備しています。

農業・漁業集落排水事業

下記の地区については、集落排水事業により汚水の処理を行っています。
 農業集落排水事業...仁保下郷、仁保中郷、二島東・宮之旦、名田島、秋穂西、大海、島地、川西
 漁業集落排水事業...長浜



▲山口市下水道施設位置図

下水道管が未整備の地域では、浄化槽を設置して汚水を処理しているよ。



(令和5年度末時点)

項目	公共下水道事業	農業集落排水事業	漁業集落排水事業
水洗化人口	125,351人	7,920人	297人
水洗化戸数	60,964戸	3,217戸	146戸
水洗化率	96.8%	95.5%	87.4%
年間汚水処理水量	1,793万 m ³	83万 m ³	2万 m ³
年間有収水量	1,450万 m ³	81万 m ³	2万 m ³

(令和5年度末時点)

▶▶ 下水道施設の規模について

汚水を処理するためには、建物や構造物（例：下水道管）、電気機械など、様々な設備が必要となります。市内にある施設等の資産総額は、公共下水道事業で約1,400億円、集落排水事業で約100億円です。

公共下水道事業施設	数	資産総額
浄化センター	5か所	約1,400億円
ポンプ場等	6か所	
マンホールポンプ	約110か所	
下水道管	902km	

集落排水事業施設	数	資産総額
排水処理場	7か所	約100億円
ポンプ場等	1か所	
マンホールポンプ	約150か所	
下水道管	212km	

山口市の下水道管の長さは1,114km！山口から仙台までの距離と同じだよ。今も未普及地域での整備を続けているよ。



適切な汚水処理を続けるため、公共下水道事業では計画的な施設更新を行っています。集落排水事業では今後の人口減少を念頭に、共同処理や施設規模の見直しなど更新計画を検討していきます。



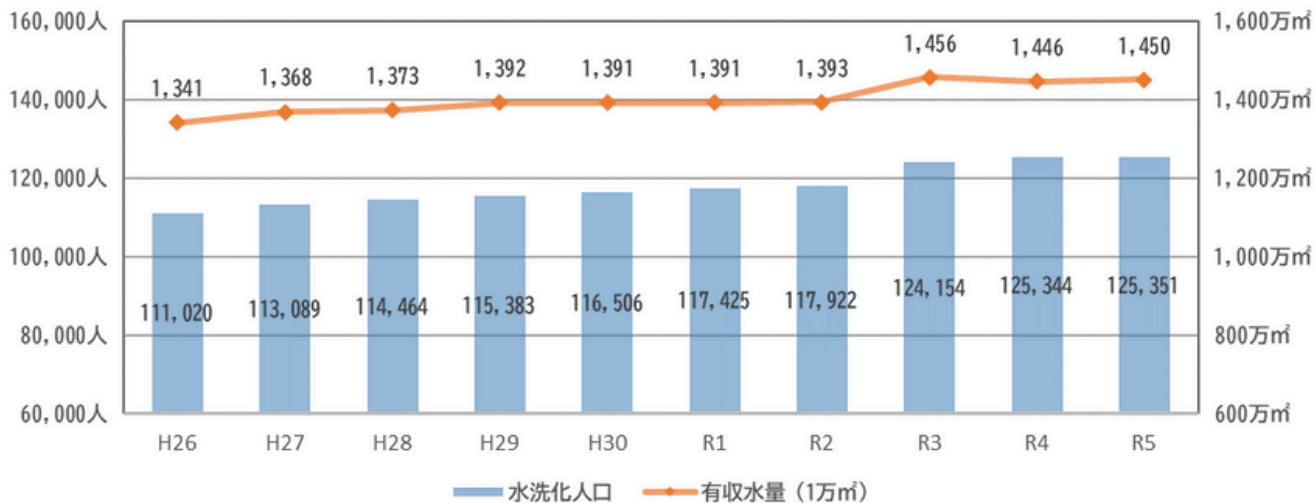
▲山口浄化センター



▲下郷雨水排水ポンプ場

▶▶ 下水道の利用状況

下水道事業 ～過去10年の利用状況～



公共下水道事業については、現在も未普及地域の整備を続けていることに加え、宇部・阿知須公共下水道組合の解散により令和3年度から阿知須処理区事業を引き継いだことから、人口減少の影響を受けながらも水洗化人口は増加しています。今後は人口減少の影響により、公共下水道事業・集落排水事業ともに水洗化人口は減少していく見込みです。

今回のポイント

今後、上下水道ともに使用人口の減少が続くと考えられ、それに伴い、事業運営の財源となる使用料収入も減少することが見込まれます。

市内には、安心安全な水道水の供給や適切な汚水処理を行うため、様々な施設がありますが、この状況下において、事業を継続するために必要な施設の管理や更新に要する費用をどのように確保していくかが課題です。